

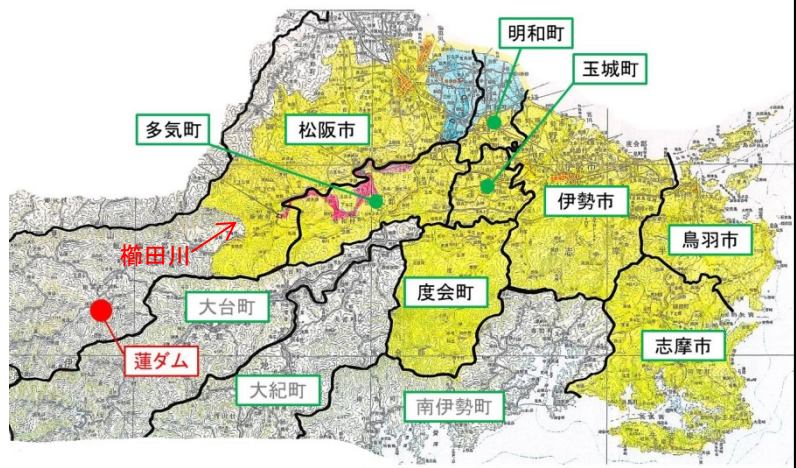
- 5月の降雨は平年の約40%、6月においても平年の約60%と少雨傾向。
- 7月の降雨は7月30日までの時点で、平年における月間累計雨量の約63%。
- 5月28日から渇水の見込みとなる流量を、断続的に下回る状況。
- 河川流量の減少により、ダムからの補給量が増大し貯水量が減少。



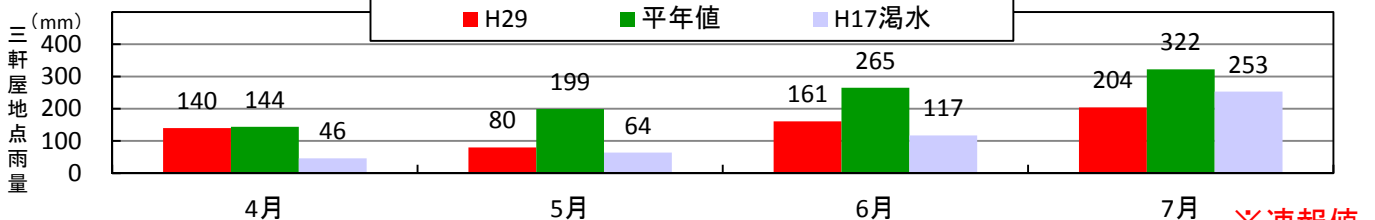
蓮ダム 7月31日 貯水率(利水)約64%
放流量 2.3m³/s



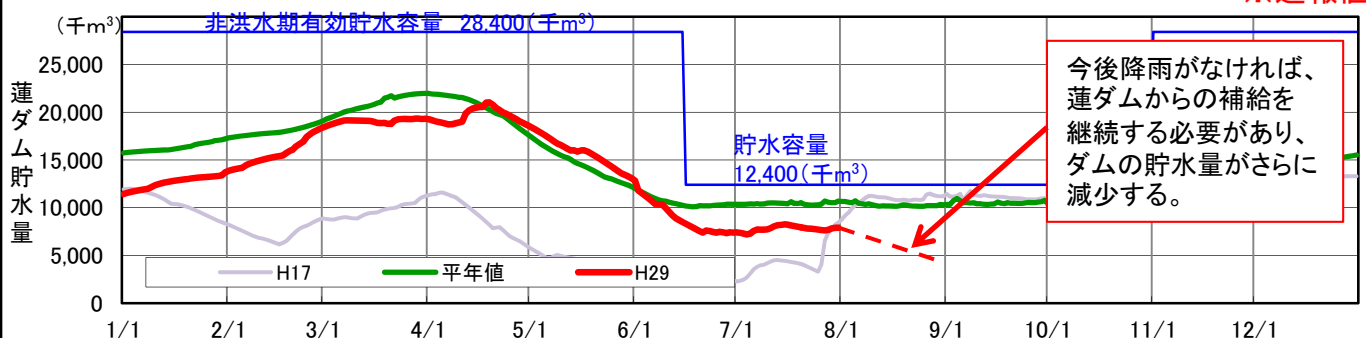
両郡橋上流 7月25日 河川流量5.6m³/s



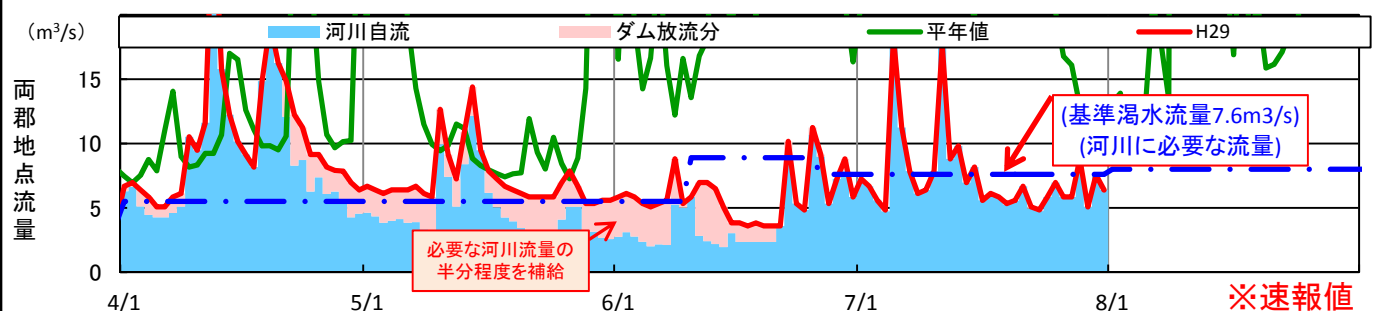
凡例	
松阪工業用水給水範囲	
立梅用水受益範囲	
橿田川沿岸用水受益範囲	
南勢志摩水道用水給水範囲 (上記範囲含む)	



※速報値



今後降雨がなければ、蓮ダムからの補給を継続する必要がある、ダムの貯水量がさらに減少する。



※速報値

櫛田川の渇水対応状況(7月31日時点)

これまでの対応状況

- 6月16日に三重河川国道事務所渇水対策支部を設置。
- 6月16日以降、河川巡視を強化するとともに、渇水対策支部設置とあわせ河川環境への影響調査を実施。
- 6月21日に櫛田川渇水調整協議会を開催し、蓮ダムの放流量を30%減量する措置を決定。利水者においても、自主節水等の渇水対応に取り組んでいる。

河川巡視実施状況(H29.6.27)



水質調査実施状況(H29.6.19)



農業用水路の末端まで水が行き届いていない状況(H29.6.28)



農家の対応状況(ほ場へのポンプによる汲み上げ)(H29.6.28)



今後の対応予定

- 天候及び河川の流況、並びに蓮ダムの貯水状況により、蓮ダムの放流量の調整、利水者間での調整を行う。